

防災ノススメ

皆さんに役立つ防災情報を紹介します。

●問い合わせ…危機管理課 (☎39-1227)

第11回は「大雨に関する天気予報」

6月から7月にかけては、日本付近で東西に延びた梅雨前線ができることで、曇りや雨の日が続きます。特に7月は全国的に大雨による洪水や土砂災害が多く発生しています。

そこで皆さんに問題です。天気予報で災害が発生する恐れのある情報は次の①から③のうち、どれでしょうか？

①大雨注意報 ②大雨警報 ③大雨特別警報

.....

実は、正解は①から③の全てです。

①大雨注意報…災害が発生する恐れのあるときに注意を呼びかける予報のこと

②大雨警報…重大な災害が発生する恐れのあるときに警戒を呼びかける予報のこと

③大雨特別警報…警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、重大な災害が発生する恐れが著しく高まっている場合に、最大級の警戒を呼びかける予報のこと

注意報は特に気に掛けることがない人も多いかもしれませんが、注意報だからといって油断してはいけません。雨が降り続いて注意報が発表されたら、テレビなどで天気予報をこまめに確認するとともに、ハザードマップなどで水害や土砂災害の危険箇所を確認したり、自分たちの避難する場所や避難ルートを再確認したりして、万が一の災害に備えましょう。